

平成28年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	串間市民総合体育館・串間市総合運動公園
所在地	串間市大字西方9050番地(体育館)・大字西方9080番地1(運動公園)
指定管理者	<p>名 称 串間市民総合体育館及び串間市総合運動公園管理運営共同企業体 代表企業 株式会社 ジェイレック</p> <p>代表者 代表取締役 加藤 裕之</p> <p>住 所 東京都練馬区関町南一丁目12番4号</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>毎月、業務報告を受け、モニタリングを行った。</p> <p>また、サービスの質については、施設管理運営評価モニター会議を実施し、利用者より意見を拝聴した。</p>
担当課 (問い合わせ先)	串間市教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興係

■モニタリングの総合コメント

平成28年度の利用者数は総合体育館22,254人、総合運動公園59,774人となっており、平成27年度(総合体育館25,297人、総合運動公園51,258人)と比較すると総合体育館は約12%減少しているが、総合運動公園においては約16%増加となっていることから、全体の利用者数は約7%増加となっている。

施設管理については、民間事業者のノウハウを生かし専門的知識による施設の個別整備等に努め、快適な利用環境の提供を行っている。

また、突発的な対応として、協定の範囲内において自らが対処できるものについては迅速な措置を行い、その他については、適宜、行政への連絡を行い、対応してきたことなどから適正な管理が図られている。

■今後の業務改善に向けた考え方

今後の業務改善に向けた考え方として、キャンプ受け入れ時の対応については、受け入れ環境の整備を行い、各施設はもとより草刈等の環境整備や機器・機材等についても事前点検を行い心身ともに充実できる串間キャンプの推進を図る。

また、自主事業については、一年を通した取り組みを実施し、施設利用者の増加はもとより、スポーツに親しむ機会の提供を行い、スポーツ人口の増加にも努めていくことを考える。

■基本的な考え方(施設の性格・目的との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性
民間事業者たる能力を活用し、地域住民等に対する健康と体力維持増進を図り、スポーツ・レクリエーションなどのサービスの効果及び効率を向上させ、地域福祉のさらなる増進を図ることを目的に管理運営されている。

■業務内容

・機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)
民間事業者のノウハウにより施設の不具合など迅速に対応し、利用者の安全性・利用環境の改善が図られている。 また、自主事業については、専門知識のあるスタッフによるトレーニング講習会が実施された。
・責任性・実効性(施設の運営体制や組織)
協定に基づいた適切かつ良好な管理運営がされており、今後もさらなるサービスの向上のために各種研修会等にも積極的に参加し、行政、各関係機関と連携を図りながら業務遂行されている。
・明瞭性・規律性(適正な事務や経理)
毎月開催される教育委員会との定例会において、確認作業、意見交換を行うことにより、協定書に基づいた適切な施設管理、事業執行及び事務・会計処理等が行われたと判断できる。
・安全性(安全管理、緊急時等の対応)
安全管理については、市民(利用者)の生命・財産を守る最重要項目であるとの認識が必要であるが、それを踏まえ苦情、事故、事件等に対して迅速な対応・対策がなされている。
・社会性(環境等への配慮)
ミーティング・スタッフ会議等により共通認識を持って業務を遂行している。 また、事務業務はもとより、施設整備についても器具、機材等の再利用等を行い経費削減に努めている。

■事業収支

経済性
平成28年度の収支は、収入48,565,865円に対し、支出48,565,865円となっている。経費については、必要最低限でまかなっており、経済的な運営がなされている。

■団体の経営状態

経営の健全性
近隣市町村のスポーツキャンプ誘致競争の激化や人口減少に伴うスポーツ人口の減少により、施設利用者の減少が懸念される中、民間のノウハウを活用した専門的な施設整備、利用環境の向上に努め施設利用者の増加に努めている。 県内の受託状況については、宮崎田野運動公園・日南市体育施設(北郷・日南エリア)の指定管理業務を受注する実績を上げている。